

目標達成計画

作成日: 平成 24年 2月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の「理念」が職員の中に浸透していない。	「理念」を確認し共有を図り、意識的なケアの実践に活かす。	カンファレンスの席上を利用して、職員が「理念」を確認する。その上で、日々の意識的なケアの実践に活かしていく。	12ヶ月
2	26	利用者毎に3カ月に1回のペースで担当者会議を開催し、モニタリングで現状に即したケアに努めている。努めているにもかかわらず利用者の介護度の進行が著しく早い。	利用者の体調管理に努め、医師・家族と連携して病状の早い進行を止める。	通院時医師より指示された内容と介護者の日々のきずきは、連絡ノートを活用して職員全員に情報の共有を図る。精神的安定に関しては、家族の協力も仰ぎ一緒に穏やかに生活できるように考える。	12ヶ月
3	35	毎月1回避難訓練を実施している。	毎月1回定期的実施している避難訓練に加えて、消防署と連携した夜間を想定した訓練を年2回開催する。	毎月1回定期的に行っている避難訓練に加えて、消防署と連携した夜間を想定した訓練を5月と10月に計画している。	12ヶ月
4	43	利用者一人一人の排泄能力に合わせた支援を行っている。排泄後に後始末が出来ない利用者は、職員が声掛けや確認を行っている。利用者が重度化している為、尿・便汚染が多い。	できるだけ利用者一人一人の行動を予測し、早めに対応して排泄援助を行い尿・便汚染を減らす。	バイタルチェック表を活用して職員が排泄行動を把握して支援を行っている。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。